

KONTAKT 5

セットアップガイド



この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購入したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments”, “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Mac, Mac OS, GarageBand, Logic, iTunes and iPod are registered trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

All other trade marks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: Native Instruments GmbH

資料バージョン: 1.0 (06/2011)

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

Germany

Native Instruments GmbH
Schlesische Str. 29-30
D-10997 Berlin
Germany
www.native-instruments.de

USA

Native Instruments North America, Inc.
6725 Sunset Boulevard
Los Angeles, CA 90028
USA
www.native-instruments.com



© Native Instruments GmbH, 2011. 無断複写・転載を禁じます。

目次

1	KONTAKT 5 へようこそ。	7
1.1	パッケージ内容	7
1.2	セットアップについて	7
2	インストール	8
2.1	インストールする前に	8
2.2	Mac OS X へのインストール	8
2.2.1	インストールプログラムの起動	8
2.2.2	インストールするコンポーネントの選択	9
2.2.3	インストール場所 を指定する。	10
2.2.4	インストール作業の終了	11
2.3	Windows へのインストール	11
2.3.1	インストールプログラムの起動	12
2.3.2	インストールする各フィーチャーの選択	12
2.3.3	アプリケーションのインストールパスの指定	14
2.3.4	VST プラグイン用のインストールパスを指定する	14
2.3.5	ライブラリパスの設定	15
2.3.6	インストール作業の終了	17
3	サービスセンターでの製品起動	18
3.1	オンライン製品起動	18
3.1.1	サービスセンターの起動	18
3.1.2	ユーザーアカウントへのログイン	19
3.1.3	製品を起動する	20

3.1.4	オンライン起動の終了	21
3.2	製品のアップデート	22
3.2.1	アップデートの選択	22
3.2.2	アップデートのダウンロード	23
3.2.3	ダウンロードフォルダを開いてアップデートをインストールする	24
3.2.4	アップデートのインストール	25
3.3	製品のオフライン起動	25
3.3.1	オフライン起動の開始	26
3.3.2	起動リクエストファイルの作成	27
3.3.3	シリアルナンバーの入力	28
3.3.4	起動リクエストファイルを転送します。	29
3.3.5	起動リターンファイルを展開します。	30
3.3.6	オフライン起動の終了	31
4	スタンドアロン操作	32
4.1	オーディオインターフェイスの選択	32
4.2	レイテンシーの最適化	33
4.3	MIDI 設定	34
5	プラグインの操作	35
6	その他の資料とサポートリソース	36
6.1	PDF マニュアル	36
6.2	ビデオ・チュートリアル	36
6.3	ナレッジベース / リードミー / オンラインサポート	37
6.4	フォーラム	37

6.5	アップデート	37
7	トラブルシューティングと FAQ	38
7.1	アップデートインストーラーがインストールフォルダを見つけることができない	38
7.2	アップデートインストーラーがライブラリパスを見つけることができない	38
7.3	ユーザーアカウント管理とインターネットセキュリティー	38
7.4	旧プラグインで作成した曲を最新バージョンのプラグイン内容に設定更新する方法	39
7.5	Windows 内の VST プラグインフォルダの位置	39
7.6	シーケンサー上にプラグインが表示されない	40
7.7	シーケンサーチュートリアル	40
8	製品の返品	41

1 KONTAKT 5 へようこそ。

KONTAKT 5 を購入いただきありがとうございます。この資料では KOMPLETE 5 の基本設定を行うための解説を記載しています。本資料を読むことで、KONTAKT 5 をインストール、製品起動し、スタンドアロン・モードでの起動と、シーケンサー上でプラグイン・モードとしての起動が可能となります。このガイドを全て読み、内容を把握しておくことをお勧めいたします。

1.1 パッケージ内容

KONTAKT 5 ボックスの内容は以下となっています。

- 5 枚の **DVD** は KONTAKT 5 ソフトウェアインストールプログラムとサンプルライブラリを含んでいます。
- **KONTAKT 5** シリアルナンバーは DVD ケースの内側に記載してあります。
- セットアップガイド

1.2 セットアップについて

このセクションでは KONTAKT 5 を起動するまでの各設定内容を簡潔に紹介します。インストール、製品起動(アクティベーション)、アップデート、コンフィギュレーション の各設定詳細に関しては以降の各章で解説します。

- インストール: インストール用 DVD を DVD ドライブに挿入し、DVD の KONTAKT 5 セットアップファイルをダブルクリックし、インストールを開始します。表示される内容に沿って、ライセンス認証し、必要な場合はパスワードを入力します (Mac OS X のみ)。
- 製品起動: サービスセンターアプリケーションで製品をアクティベート(起動)します。この作業はオンライン、オフラインのどちらでも行うことが可能です。
- アップデート: サービスセンターアプリケーションを使用して最新のソフトウェアアップデートを行います。その後ダウンロードフォルダでダウンロードした全てのアップデート内容をインストールします。
- 設定: 外部機器を接続してオーディオ、MIDI インターフェイスが使用できるように新しいソフトウェアを設定します。
- 更なる資料の詳細、トラブルシューティング、**FAQ**、製品返却に関する情報はこのガイドの副章で解説しています。

2 インストール

2.1 インストールする前に

KONTAKT 5 のインストールを始める前に、注意点をあげておきます。

- KONTAKT 5 を新規コンピュータにインストールする場合等の為に、**KONTAKT 5 インストール用 DVD** は安全な場所に保管してください。
- インストールスクリーンを注意深く読み、またハードディスク内に不必要なフォルダが作成されるのを防ぐ為にインストール先となるパスを十分に確認します。
- KONTAKT 5 をコンピュータにインストールする際はここのプログラムをインストールする場合でも常に KONTAKT 5 インストールプログラムを使用するようにしてください。 個々のディスクイメージからインストールを行うとインストールがうまくいきません。
- インストール中にサンプルライブラリを他の場所に保存することは可能です。 インストールしたコンポーネントのデフォルトインストールパスを確認する場合は [↑ 2.2, Mac OS X へのインストール](#) (Mac OS X) または [↑ 2.3, Windows へのインストール](#) (Windows) を参照してください。
- Native Instruments ソフトウェアに関係あるフォルダをインストール後に移動することは推奨しません。 後に行われるソフトウェアアップデートは初期インストールの時点で使用したディレクトリを参照します。
- KONTAKT 5 の全機能をインストールするにはハードディスクに約 **25** ギガバイトの空き容量が必要です。 インストールの殆どはライブラリに費やされます。

2.2 Mac OS X へのインストール

デフォルトではインストール時に、このフォルダ内にいくつかのサブフォルダが設置されます。

Macintosh HD/Applications/Native Instruments

このインストールパスを使用することを強く推奨します。

2.2.1 インストールプログラムの起動

1. **KONTAKT 5** インストールディスクを DVD ドライブに挿入します。
2. Mac OS X 上に KONTAKT 5 インストール DVD アイコンが表示されたらダブルクリックします。
3. DVD の **Kontakt 5 Installer Mac.mpkg** ファイルをダブルクリックしてインストール作業を開始します。
4. スクリーンで表示される手順に従ってください。

2.2.2 インストールするコンポーネントの選択

インストール可能なコンポーネントはグループ([Applications](#)、[Content](#)、[Service Center](#)、[Plug-In Types](#))に分類された状態で表示されます。各リストを表示するには三角の部分をクリックしてください。



インストールプログラムのコンポーネント選択画面です。



[Content](#) 内に表示されるコンポーネントは関連アプリケーションが[アプリケーション](#)に表示されてから使用可能となります。全て選択することを推奨します。

Applications: KONTAKT スタンドアローンアプリケーションのインストールを行います(コンピュータ上でソフトウェアを起動する為に必要な全てのファイルも共にインストールします)。KONTAKT ソフトウェアを使用するにはここをチェックします。

Content: KONTAKT ファクトリーライブラリをインストールします。KONTAKT ファクトリーライブラリをインストールするにはここをチェックしておきます。

Plug-In Types: インストールするプラグインの種類を指定します(VST、Audio Unit、RTAS)。 使用しているシーケンサーがサポートするプラグインの種類によって指定する内容を決めます。 Audio Unit は Logic、Live、 Digital Performer、Garage Band 等の殆どのシーケンサー上で使用可能です。 VST は Cubase で使用し、RTAS は Pro Tools 専用です。 使用しているホストアプリケーションがどのプラグイン形式をサポートしているか不明な場合、全てを選択しておきます。



Service Center アプリケーション: は製品起動の際に必要で、最新または同じバージョンのアプリケーションがインストール済みである場合以外は、インストールします。

KONTAKT 4 からのアップデート

KONTAKT 4 のサンプルライブラリを現行プロジェクトで使用している場合はそのサンプルライブラリはそのままにしておく必要があります。 KONTAKT 4 を削除してディスクスペースを節約する場合は、ライブラリを安全に削除して KONTAKT 5 にアップデートすることが可能です。 設定方法は以下となっています。

1. KONTAKT 4 のインストールメントとサンプルを含んでいる **Kontakt 4 Library** フォルダを削除します(ホストプロジェクトで使用しているインストールメントと Multi は削除されることはありません)。
2. プロジェクトファイルを開くと、ダイアログボックスが表示され不明なサンプルがあると表示されます。
3. [Check for Alternate file types](#) オプションがチェックしてあるか確認します。
4. [Browse for Folder](#) ボタンをクリックします。
5. **Kontakt Factory Library** を指定し、**OK** をクリックします。
6. サンプルの場所を把握している場合は、**Kontakt Factory Library** 内で **Samples** フォルダを選択します。
7. プロジェクトを再保存します。

2.2.3 インストール場所 を指定する。

[Location](#) でフォルダを指定、または KONTAKT ファクトリーライブラリのボリュームを指定します。



ライブラリ用に使用するハードディスクスペースが大きいので、インストール場所を指定する際はディスクスペースを確認してください。 最適なパフォーマンスの為に専用ハードディスクにインストールすることを推奨します。

▶ インストール設定を行った後、[Continue \(続行、続ける\)](#) をクリックして表示される内容に従ってください。 [Continue \(続行、続ける\)](#)

2.2.4 インストール作業の終了



インストールプログラムの最終画面です。

- ▶ インストールプログラムの最後の画面で、Close をクリックしてインストールを終了します
- ▶ セットアップガイドの [↑3, サービスセンターでの製品起動](#) 章で解説する内容に沿って、サービスセンターで製品起動をしてください。

2.3 Windows へのインストール

デフォルトではインストール時に、このフォルダ内にいくつかのサブフォルダが設置されます。

C:\Program Files\Native Instruments

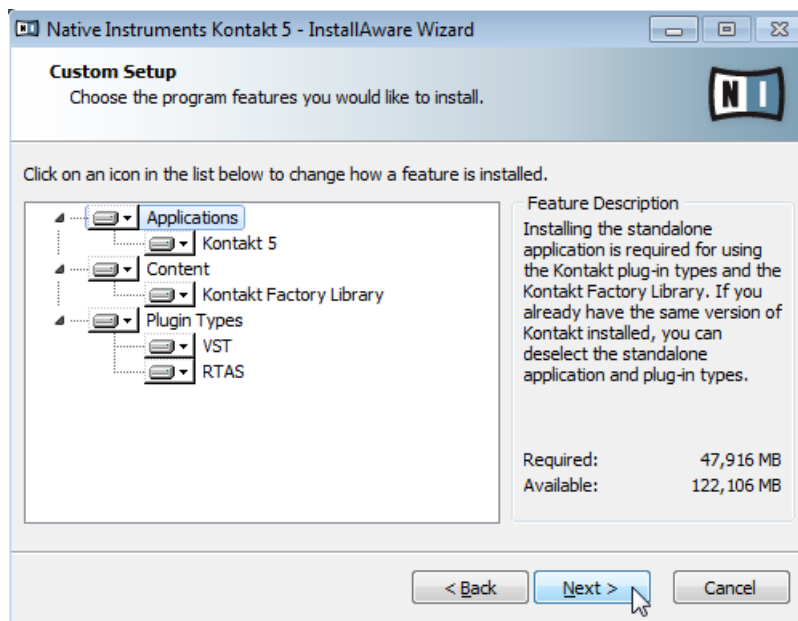
このインストールパスを使用することを強く推奨します。

2.3.1 インストールプログラムの起動

1. **KONTAKT 5** インストールディスクを DVD ドライブに挿入します。
2. Windows Explorer 上に **KONTAKT 5** インストール DVD アイコンが表示されたらダブルクリックします。
3. DVD の **Kontakt 5 Setup PC.exe** ファイルをダブルクリックしてインストール作業を開始します。
4. スクリーンで表示される手順に従ってください。

2.3.2 インストールする各フィーチャーの選択

インストール可能なフィーチャーはグループ([Applications](#)、[Content](#)、[Service Center](#)、[Plug-In Types](#))に分類された状態で表示されます。各リストを表示するには三角の部分をクリックしてください。



インストールプログラムのコンポーネント選択画面です。



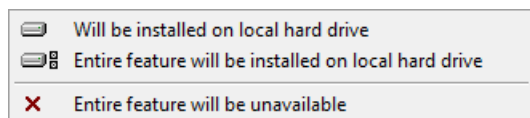
Content 内に表示されるフィーチャーは関連アプリケーションがアプリケーションに表示されてから使用可能となります。全て選択することを推奨します。

Applications: KONTAKT スタンドアローンアプリケーションのインストールを行います(コンピュータ上でソフトウェアを起動する為に必要な全てのファイルも共にインストールします)。 KONTAKT ソフトウェアを使用するにはここをチェックします。

Content: KONTAKT ファクトリーライブラリをインストールします。 KONTAKT ファクトリーライブラリをインストールするにはここをチェックしておきます。

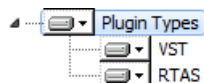
Plugin Types: インストールするプラグインの種類を指定します(VST または RTAS)。使用しているシーケンサーがサポートするプラグインの種類によって指定する内容を決めます。使用しているホストアプリケーションがどのプラグイン形式をサポートしているか不明な場合、全てを選択しておきます。

▶ 各内容の選択を解除するには、各インストール内容の横にあるハードディスクアイコンをクリックして *Entire feature will be unavailable* を選択します。



Entire feature will be unavailable

▶ インストールするプラグインの種類を指定することも可能です。 VSTは Cubase、Sonar、Live 等多くのシーケンサーで使用可能で、RTASは Pro Tools 専用です。



VST RTAS



Service Center アプリケーション: は製品起動の際に必要で、最新または同じバージョンのアプリケーションがインストール済みである場合以外、インストールします。

KONTAKT 4 からのアップデート

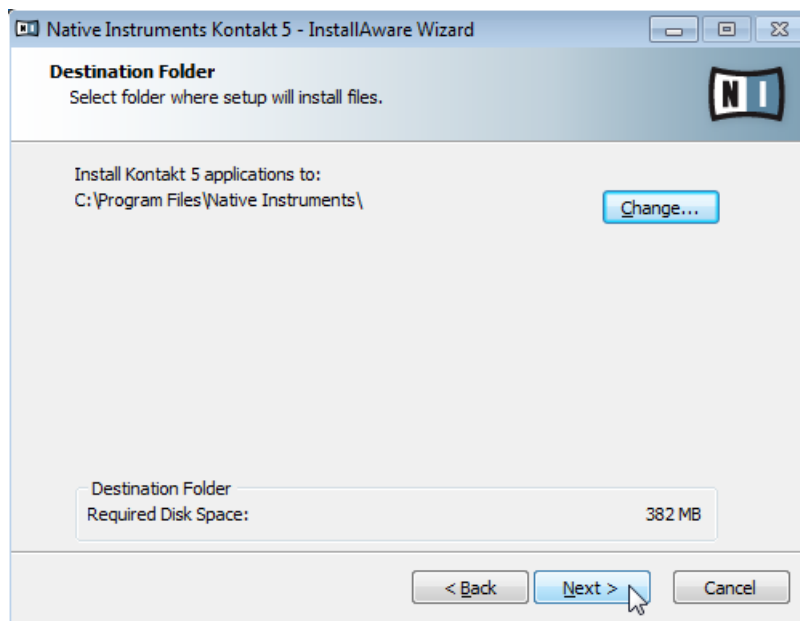
KONTAKT 4 のサンプルライブラリを現行プロジェクトで使用している場合はそのサンプルライブラリはそのままにしておく必要があります。 KONTAKT 4 を削除してディスクスペースを節約する場合は、ライブラリを安全に削除して KONTAKT 5 にアップデートすることが可能です。 設定方法は以下となっています。

1. KONTAKT 4 のインストールメントとサンプルを含んでいる **Kontakt 4 Library** フォルダを削除します(ホストプロジェクトで使用しているインストールメントと Multi は削除されることはありません)。
2. プロジェクトファイルを開くと、ダイアログボックスが表示され不明なサンプルがあると表示されません。
3. [Check for Alternate file types](#) オプションがチェックしてあるか確認します。
4. [Browse for Folder](#) ボタンをクリックします。
5. **Kontakt Factory Library** を指定し、**OK** をクリックします。

6. サンプルの場所を把握している場合は、**Kontakt Factory Library** 内で **Samples** フォルダを選択します。
7. プロジェクトを再保存します。

2.3.3 アプリケーションのインストールパスの指定

KONTAKT 5 アプリケーションインストールパスをここで指定します。



インストールプログラムのソフトウェアインストールパス画面です。



このインストールパスはアプリケーションと各資料用に使用され、ライブラリ用ではありません。ライブラリパスは後に表示されるインストールスクリーンで指定可能です。

2.3.4 VST プラグイン用のインストールパスを指定する

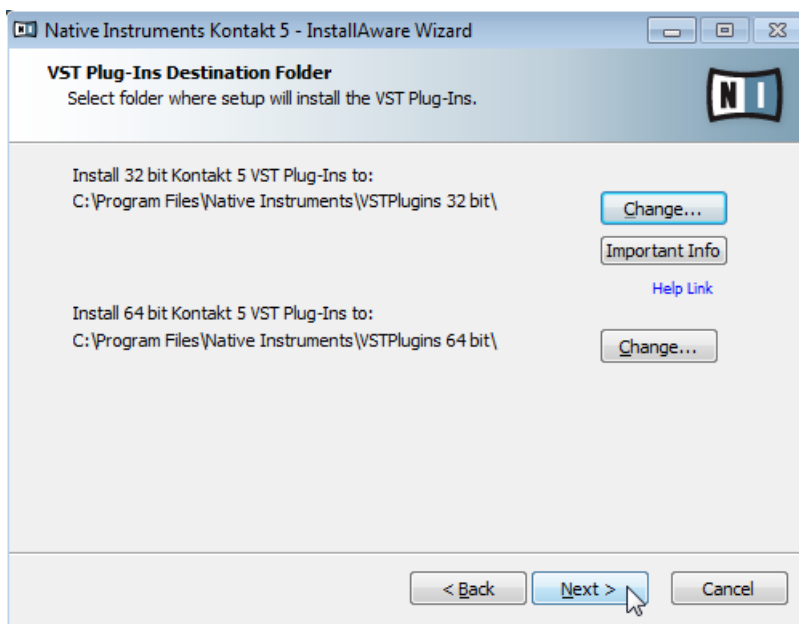
VST プラグインをインストールする場合は、この画面で使用しているコンピュータの VST プラグインのパスを設定することができます。32-ビットバージョンの Windows を使用している場合、指定できるパスは一つとなります。64-ビットバージョンの Windows を使用している場合は、32-ビット / 64-ビット各バージョンのプラグインをインストールする場所を指定することが可能となります。



32-ビットと 64-ビット各プラグイン用に選択するフォルダは区別してください。



使用しているコンピュータに第三者製のプラグインをインストールしている場合は、Native Instruments プラグインのインストールディレクトリもこれに合わせて同じ場所を指定してください。またホストソフトウェアで設定したデフォルト VST プラグインパスもチェックしてください。ホストソフトウェアがインストールしたプラグインを検出する為には、ここでは同じパスを選択する必要があります。



インストールプログラムのプラグインフォルダ選択画面です。



このスクリーンで正しい VST プラグインパスを選択してください。詳細はこのガイドの最後にあるセクション↑7, [トラブルシューティング](#)と [FAQ](#) を参照してください。

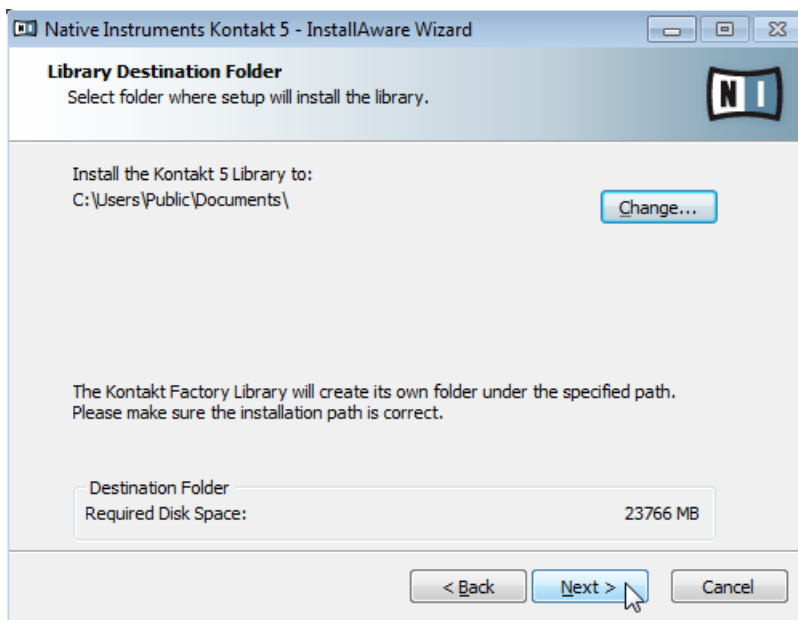
2.3.5 ライブラリパスの設定

次のスクリーンでフォルダ、または KONTAKT ファクトリーライブラリのボリュームを選択します。



ライブラリ用に使用するハードディスクスペースが大きいので、インストール場所を指定する際はディスクスペースを確認してください。最適なパフォーマンスの為に専用ハードディスクにインストールすることを推奨します。

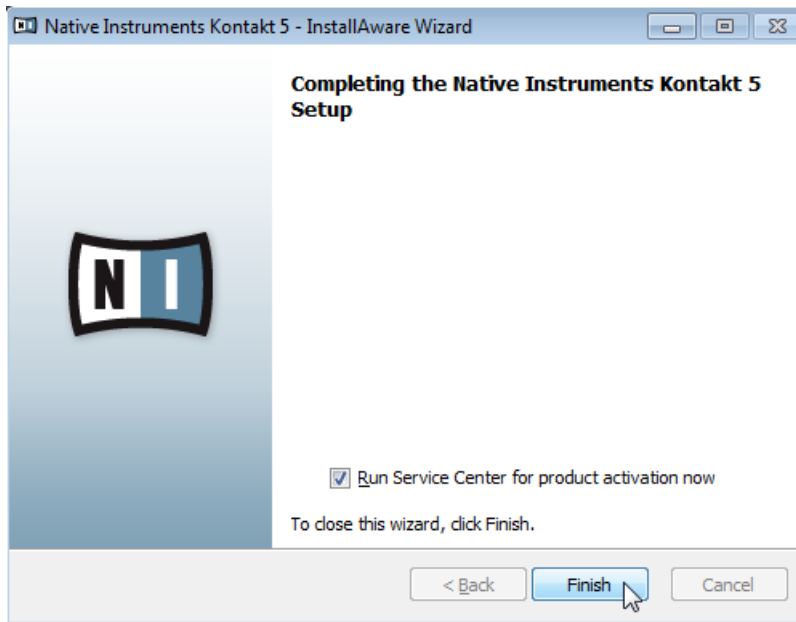
- ▶ 他のハードディスクにサウンドライブラリをインストールするには [Change...](#) をクリックして任意の場所を指定します。 [Change...](#)



インストールプログラムのライブラリフォルダインストール先を選択する画面です。

- ▶ インストール設定を行った後、[Next](#) をクリックして表示される内容に従ってください。 [Next](#)

2.3.6 インストール作業の終了



インストールプログラムの最終画面です。

- ▶ インストールプログラムの最後のスクリーンで [Run Service Center for product activation now](#) をチェックしてサービスセンターを自動的に起動します。その後 [Finish](#) をクリックしてインストールを終了します。[Run Service Center for product activation now](#)[Finish](#)
- ▶ インストールが終わると、サービスセンターアプリケーションが起動します。セットアップガイドの [↑3, サービスセンターでの製品起動](#) 章で解説する内容に沿って、サービスセンターで製品起動をしてください。

3 サービスセンターでの製品起動



このセクションでは全スクリーンショットで ("NI Product") 名称を便宜上使用します。各スクリーンの関係セクションでは起動する Native Instruments 社製品名で表示します。

3.1 オンライン製品起動



使用しているコンピュータをインターネットに接続していない場合は、セクション [↑ 3.3, 製品のオフライン起動](#) に進んでください。

3.1.1 サービスセンターの起動

1. ハードディスク内でサービスセンターアプリケーションを見つけてください。インストールの際に、**Native Instruments** フォルダが Program Files (Windows) / Applications (Mac OS X) フォルダ内に作成されているはずです。このフォルダ内に、**Service Center** という名称のサブフォルダがあるので、そこでサービスセンターアプリケーションを起動します。
2. サービスセンターアプリケーションをダブルクリックし、製品起動を開始します。



Native Instruments の全機能を使用するには製品起動が必要です。

3.1.2 ユーザーアカウントへのログイン

SERVICE CENTER

ログイン

電子メールアドレスとパスワードを使用してログインしてください。

E-mailアドレス

パスワード

☐ 次回以降は自動ログインをする

▶ パスワードをお忘れですか?

▶ 新規ユーザーアカウント作成

ログイン


現在の状況:
オンライン


サービスセンターのログイン画面です。


- ▶ メールアドレスと NATIVE INSTRUMENTS パスワードを入力してログインします。
- ▶ Native Instruments アカウントを持っていない場合は、[Create new User Account](#) (新規ユーザーアカウント作成) をクリックします。アドレスフォームに記入してください。パスワードは電子メールで送信されます。[Create new User Account](#) (新規ユーザーアカウント作成)


3.1.3 製品を起動する

SERVICE CENTER



 アクティベート


 アップデート




 製品一覧


設定


サポート

アクティベートしたい製品のシリアル番号を入力してください。

 NI PRODUCT



 アクティベート

現在の状況:
オンライン

ログイン名:
you@yourmail.com

サービスセンターでの製品起動スクリーンです。

1. 番号入力欄にシリアルナンバーを入力してください。シリアルナンバーは KONTAKT DVD ケースの内側に記載してあります。
2. アクティベート(Activate) をクリックします。

3.1.4 オンライン起動の終了



サービスセンターで製品起動を行います。

サービスセンターが製品の起動処理に成功しているか確認します。アップデート有無の確認作業が自動的に始まります。

- 起動している製品のどれかにアップデートがある場合は、右下に [アップデート](#) ボタンが表示されます。アップデートをダウンロードするにはアップデートボタンをクリックして [↑3.2, 製品のアップデート](#) 章に進んでください。
- アップデートがない場合は、右下に [Exit](#) ボタンが表示されます。クリックしてサービスセンターを終了します。

3.2 製品のアップデート

3.2.1 アップデートの選択



サービスセンターの製品アップデートスクリーンです。

1. Service Center を起動し、アップデート(Update) タブをクリックし、更新可能なアップデート情報を確認します。
2. 左側にあるチェックボックスでダウンロードするアップデートを選択します。自動チェックされているアップデート内容はダウンロードすることをお勧めします。
3. ダウンロードをクリックします。ダウンロードがスタートします。

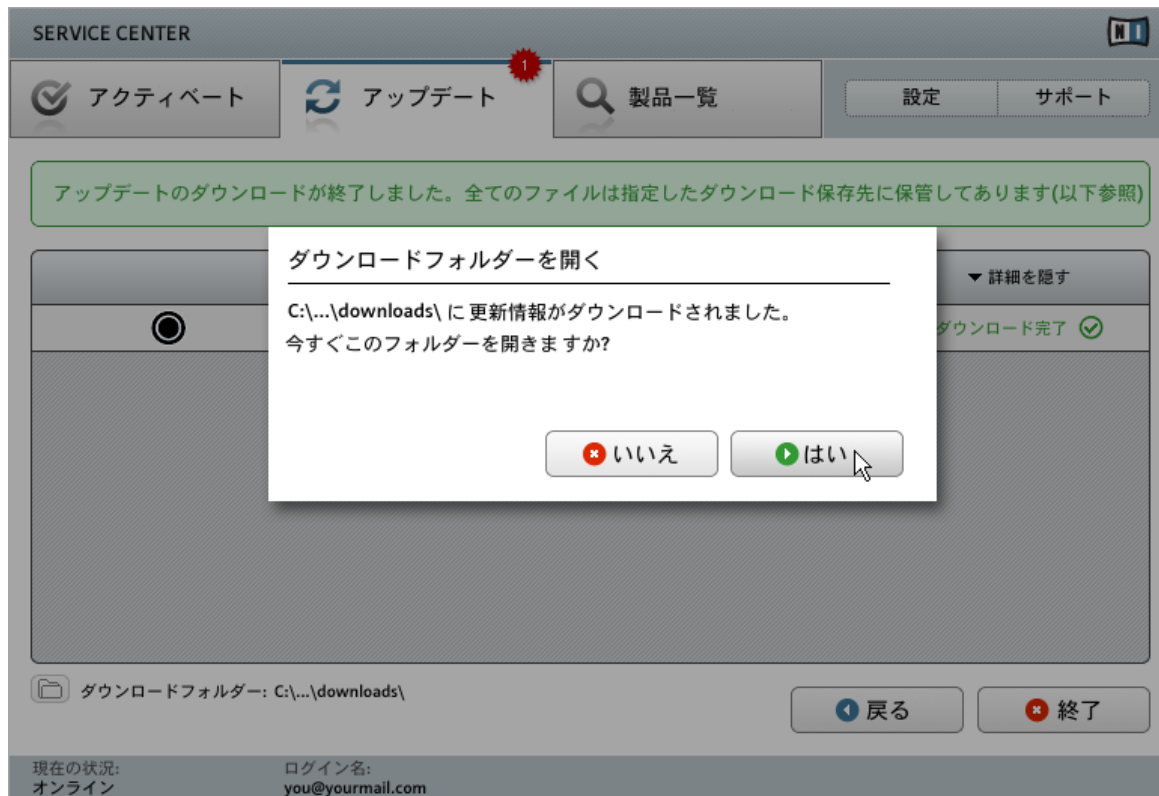
3.2.2 アップデートのダウンロード



製品アップデートがダウンロードされました。

ファイルサイズとインターネットの処理速度によってダウンロードに時間がかかる場合があります。最新のアップデートを常時更新することを強くお勧めします。

3.2.3 ダウンロードフォルダを開いてアップデートをインストールする



Service Center が全てのアップデートがダウンロードされたことを確認し、ダウンロードフォルダを開くよう促します。

全てのファイルのダウンロードが正常に完了すると、ダウンロードフォルダを展開する確認画面が表示されます。

- ▶ Yes (はい)をクリックしてダウンロードフォルダを開きます。Yes
- ▶ ダウンロードフォルダを開いたら、Exit をクリックしてサービスセンターを終了してもよいでしょう。Exit

3.2.4 アップデートのインストール

1. ダウンロードフォルダから最初のインストーラーを立ち上げます。
2. インストールウィザードの指示に従ってください。
3. 全てのアップデートのインストールを同様の手順で行います。

3.3 製品のオフライン起動

Native Instruments 製品を使用するコンピュータがインターネットに接続していない場合はオフライン起動による製品起動を行います。この場合、インターネットに接続してある2台目のコンピュータが必要です。

3.3.1 オフライン起動の開始

SERVICE CENTER

インターネット接続

Service Center was unable to establish an internet connection. How do you wish to proceed?

インターネットを再接続する

コンピュータがインターネット接続しているか確認してください。

やり直す

インターネットを接続するのにプロキシサーバーを使用する

ホスト ポート

プロキシ

インターネット接続はしないで続ける

注:アクティベーション・リクエストファイルをインターネット接続してあるコンピューターに転送する必要があります。

オフライン


現在の状況:
ペンディング...


サービスセンターのインターネット接続スクリーンです。


1. サービスセンターを起動します。インターネットコネクションが検出されない場合、上のインターネット接続 画面に戻ります。
2. スクリーン下部のインターネット接続はしないで続けるでオフラインをクリックします。すると次のアクティベート(Activate)画面に移動します。

3.3.2 起動リクエストファイルの作成

SERVICE CENTER

 アクティベート

 アップデート

 製品一覧

設定

サポート

オフラインアクティベートするには3段階のステップを行います。

1.

リクエストファイルを作成する
シリアルナンバーを入力し、実行リクエストファイルをUSBスティック等に保存してください。

作成する

2.

インターネットにアクセス可能なコンピューター
実行リクエストファイルをインターネット環境を配備したコンピューターに移動し、USBスティック等に保管したファイルを展開します。この作業によりNATIVE INSTRUMENTSレジストレーションウェブページを展開します。

3.

オフライン・アクティベーション・リターンファイル
NATIVE INSTRUMENTSウェブサーバーから転送されるアクティベーション・リターンファイルを各メモリ媒体(例USBスティック等)にコピーした後、リクエストファイルを作成したコンピューター内でファイルを実行してください。

開く

現在の状況:
オフライン

サービスセンターのオフライン製品起動スクリーンです。

▶ **起動**スクリーン上で作成(Create)をクリックします。**起動**スクリーンではシリアルナンバー入力画面が表示されます。**起動** Create **起動**

3.3.3 シリアルナンバーの入力

SERVICE CENTER

 アクティベート

 アップデート



 製品一覧

設定

サポート

アクティベートしたい製品のシリアル番号を入力してください。

 NI PRODUCT

戻る

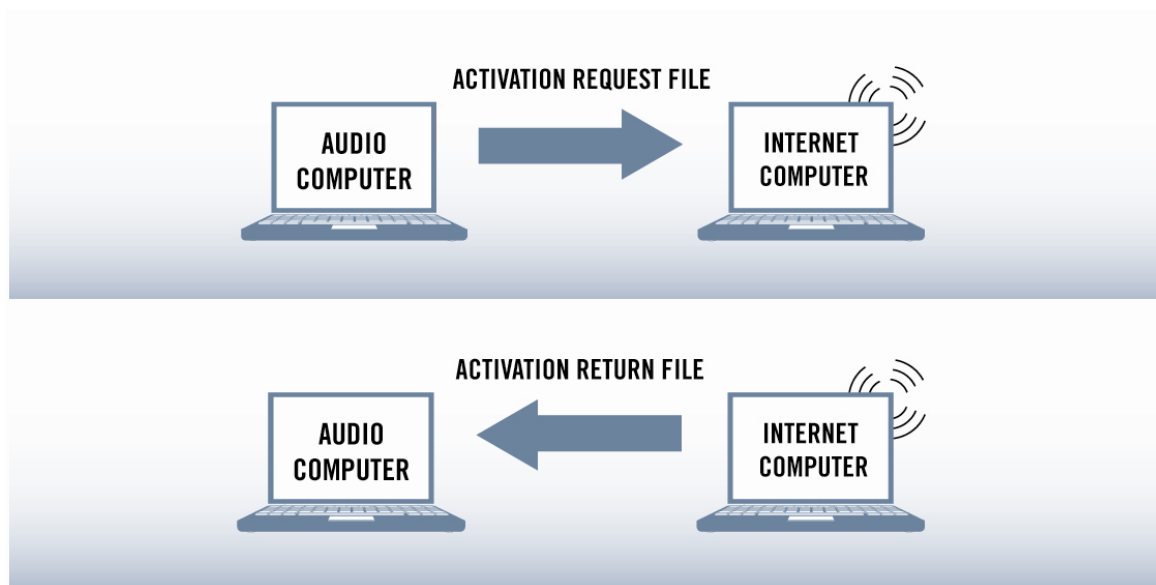
作成する

現在の状況:
オフライン

サービスセンターでの製品起動スクリーンです。

1. 番号入力欄にシリアルナンバーを入力してください。シリアルナンバーは KONTAKT DVD ケースの内側に記載してあります。
2. **作成する**をクリックして起動リクエストファイル(ActivationRequestFile.html)を保存します。Save File ダイアログが開き、そこでフォルダを指定します。
3. 起動リクエストファイルを指定したフォルダに保存します。

3.3.4 起動リクエストファイルを転送します。





オフライン起動を実行します。


1. 起動リクエストファイルを USB スティック等の簡易データ保管機器にコピーし、インターネット接続環境を備えたコンピューターへとデータ転送します。
2. 起動リクエストファイルをダブルクリック、展開します。
3. サービスセンター製品起動ウェブページでの手順に従ってください。新規 Native Instruments ユーザーである場合は、ログイン前に新規アカウントを作成する必要があります。
4. 起動リターンファイルを音楽製作に使用しているコンピューターに転送してください。

3.3.5 起動リターンファイルを展開します。

SERVICE CENTER

 アクティベート

 アップデート

 製品一覧

設定

サポート

オフラインアクティベートするには3段階のステップを行います。

1.

リクエストファイルを作成する
シリアルナンバーを入力し、実行リクエストファイルをUSBスティック等に保存してください。

作成する

2.

インターネットにアクセス可能なコンピューター
実行リクエストファイルをインターネット環境を配備したコンピューターに移動し、USBスティック等に保管したファイルを展開します。この作業によりNATIVE INSTRUMENTSレジストレーションウェブページを展開します。

3.

オフライン・アクティベーション・リターンファイル
NATIVE INSTRUMENTSウェブサーバーから転送されるアクティベーション・リターンファイルを各メモリ媒体(例USBスティック等)にコピーした後、リクエストファイルを作成したコンピューター内でファイルを実行してください。

開く

現在の状況:
オフライン

サービスセンターのオフライン製品起動スクリーンです。

- 音楽製作に使用しているコンピューターで、サービスセンターを再度起動してください。スクリーン下部のインターネット接続はしないで続けるでオフラインをクリックします。
- 起動タブを選択し、開く (Open) をクリックし、起動リターンファイル(Activation Return File)をロードします。

3.3.6 オフライン起動の終了



サービスセンターで製品起動を行います。

起動リターンファイルを開いた後、サービスセンターは製品の起動処理に成功しているか確認作業を行います。ここまですれば、[Exit](#) をクリックしてサービスセンターを終了してもよいでしょう。

▶ 製品のアップデートを取得するには <https://co.native-instruments.com/?id=updates> で Native Instruments ユーザーアカウントにログインします。インターネットに接続してあるコンピュータから Personal Update Manager を用いて関連するアップデートを全てダウンロードし、簡易保存メディアを使用して音楽用コンピュータにインストールします。

4 スタンドアロン操作

インストールが終了すると、アプリケーションと資料、を含んだ KONTAKT 5 フォルダが Applications (Mac OS X) または Program Files (Windows) フォルダ内の Native Instruments フォルダ内に表示されます。

インストールディレクトリから KONTAKT 5 アプリケーションを開く場合、KONTAKT は使用している他のアプリケーションと同様に、アプリケーションメニューを供えたスタンドアローンモードで起動します。

Audio と MIDI の設定

アプリケーションの初回起動の際に、オーディオと MIDI の設定を行う必要があります。アプリケーションがキーボードから MIDI ノートを受信し、オーディオインターフェイスからサウンドを発音するようにするには、どのオーディオと MIDI ハードウェアを使用するか指定する必要があります。これは初回起動の際に表示される **Options** ダイアログで設定します。



KONTAKT の **File** メニューで *Options...* を選択することでいつでもこのダイアログを開くことができます。

4.1 オーディオインターフェイスの選択

Windows の **Options** ダイアログの **Audio** ページです。

Options ダイアログの **Audio** ページでアプリケーションが使用するオーディオデバイスとグローバルパラメーターを設定します。ダイアログには以下のオプションがあります。

- **Driver:** このドロップダウンメニューでアプリケーションが使用するシステム内のデバイスドライバを選択します。以下はオーディオドライバの一般的な形式と特徴のリストです。
 - *Core Audio:* Mac OS X 専用です。素早い反応が特徴です。
 - *ASIO:* Windows の推奨ドライバです。リアルタイムオーディオアプリケーションと高速パフォーマンス用に設計されています。このタイプのドライバーは殆どのプロ使用のオーディオデバイスに実装してあります。
 - *WASAPI:* Windows 7 用の現行スタンダードオーディオドライバです。オーディオハードウェアとドライバの性能によってパフォーマンスが異なります。
 - *DirectSound:* 旧バージョンの Windows オーディオドライバ用標準規格です。パフォーマンス内容は最新のものと比べて低下します。

- *WDM*: 旧バージョンの Windows オーディオドライバ用標準規格です。パフォーマンス内容は最新のものとは比べて低下します。
- *MME*: Windows 初期のオーディオドライバです。パフォーマンスはよくありません。
- **Device**: このメニューでは、上記で選択したドライバ・アーキテクチャに適合する、接続されている全てのオーディオ・インターフェイスがリストアップされます。再生に使用するオーディオインターフェイスを選択してください。
- **Device driver configuration**: Windows では **ASIO Config** ボタンで選択したオーディオインターフェイスのコントロールパネルを開きます。このボタンは Mac OS X にはありません。
- **Sample rate**: このドロップ・ダウン・メニューでは、アプリケーションが使用するプレイバック・サンプル・レート全体を設定することができます。よく使われる数値として、音楽では 44100 Hz、映画制作には 48000 Hz を用います。
- **Latency**: サンプルのオーディオ・プレイバック・バッファ・サイズを表示します。数値が小さければ、キーを押してから流れるサウンドの間のディレイ（これはレイテンシーと呼ばれます）が短くなる反面、いくつかのボイスを同時に鳴らすと、途切れたり、つかえたりすることがあります。逆に、この数値を大きくすると、レイテンシーが大きくなりますが、プレイバックがより安定します。

4.2 レイテンシーの最適化

レイテンシーを設定することで再生バッファのサイズを設定します。システム上の最適なバッファ・サイズを見つけるには、まず Latency を 256 から 512 の間の中間値に設定し、作業を進めていく中で、だんだんとこの値を減らしていくことをお勧めいたします。

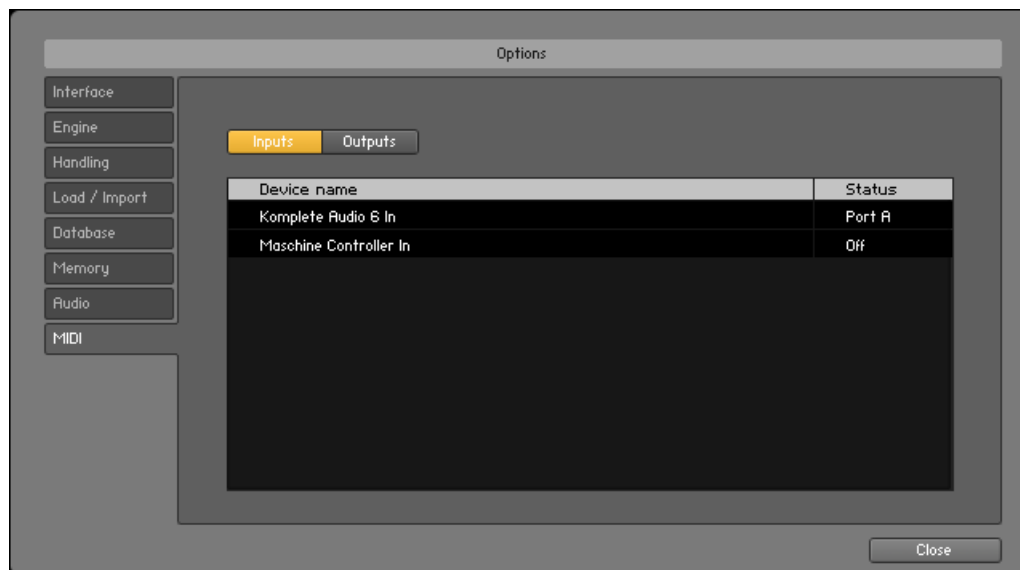
Mac OS X では 専用 **Latency** スライダーでバッファサイズを設定します。Windows では、ASIO ドライバを使用する場合はオーディオインターフェイスの ASIO パネルでバッファサイズを設定します。ASIO パネルは **Options** ダイアログの **Audio** ページにある **ASIO Config** ボタンを使用して開きます。その他の Windows ドライバにはレイテンシーを調節する機能画内場合があります。その場合は、オーディオドライバとオーディオインターフェイスをアップグレードすることを推奨します。

低レイテンシードライバを使用していてもある一定のバッファサイズより下回ることができず、なおかつサウンドを途切れさせたくない場合は、いくつかのドライバは他のものよりも効率的な低レベルの接続が可能ですので、オーディオハードウェアのドキュメントを参照して、他のドライバで接続することができないかどうか確認してください。

4.3 MIDI 設定

Options ダイアログにある **MIDI** タブには、システム上にある全ての MIDI インプットとアウトプットのリストがあります。これらはコンピュータへ接続されている物理的な MIDI インターフェイスのポートですが、この他にも、アプリケーション間の MIDI 使用を円滑にするため、ドライバや他のアプリケーションにより提供されている仮想的な MIDI インターフェイスのポートがあります。

アプリケーションを外部の MIDI データへ応答させるために、**MIDI** タブのインプットのリストに現れる 1 つまたは複数のポートを有効にさせる必要があります。**Inputs** ボタンがハイライト表示になっていることを確認し、リスト上で MIDI インプットとして使用したいと思っているポートを選択してください。右側の **Status** フィールドが **Off** になっている状態からポートを起動する場合は、**Off** をクリックして **On** と表示させます。



Windows の Options ダイアログの MIDI ページです。

いくつかのアプリケーションでは MIDI を外部 MIDI ポート、または他のアプリケーションに出力することが可能です。

▶ **MIDI** ページの左上隅にある **Outputs** ボタンをクリックし、必要であればこのセクションで上述したようにポートを起動します。 **MIDI Outputs**

5 プラグインの操作

KONTAKT を VST (Virtual Studio Technology)、AU (Audio Units)、RTAS (Real Time Audio Suite) プラグインフォーマットで使用することも可能です。バーチャルインストゥルメント、エフェクトプラグインのロード方法、各プラグインのホスト上での互換性に関しては使用しているホストアプリケーションの資料を参照してください。

KONTAKT プラグインはホスト内のプラグインリスト上に表示され、ロードすることが可能となります。バーチャルインストゥルメント、エフェクトプラグインのロード方法は各ホストで異なります。



KONTAKT ファクトリーライブラリーは KONTAKT で使用するために設計されています。ですのでホスト内にこれらの名称が表示されることはありません。代わりに KONTAKT のブラウザ内に表示されるので、そこからロードします。

6 その他の資料とサポートリソース

6.1 PDF マニュアル

各コンポーネントの資料はハードディスクの各アプリケーション/ライブラリのインストールディレクトリに PDF で保管しています。Native Instruments アプリケーションをスタンドアローンモードで使用する場合は、アプリケーションの **Help** メニューから資料にアクセスすることが可能です。

このガイドの他にも、KONTAKT 5 には以下のドキュメントが付属しています。

- **Getting Started** ガイドではパッチのロードと演奏等の基本操作を紹介しています。
- アプリケーションリファレンス(**Application Reference**) は必須の情報源です。アプリケーションのユーザー・インターフェイスの全ての要素、ツール、エディタ、サウンド加工モジュールの説明がここに記載されています。参照マニュアルとしてご利用いただいても結構ですが、同時にアプリケーションで実際に作業する際のガイドとしてご利用いただけます。資料によってはこの資料名が **Operation Manual** となっている場合があります。
- KONTAKT ファクトリーライブラリマニュアルにはサンプルライブラリとインストゥルメント、Multi の各情報を含んでいます。
- **Readme.txt** ファイルには最新情報、バージョンヒストリー等があります。

更に製品によっては **Manual Addendum** があり、最新アップデートによる変更内容や、新規機能の解説、ライブラリとモジュールの資料を用意しています。



Windows ユーザーは PDF 資料を参照する為に、無料の Adobe Reader ソフトウェア (www.adobe.com) または同等のアプリケーションをダウンロードする必要がある場合があります。

6.2 ビデオ・チュートリアル

各チュートリアルビデオは以下の当社ウェブ url で閲覧することができます。

<http://www.native-instruments.com/#/en/media-center/>

ここでは KONTAKT 5 の一般的な操作を学ぶことができます。これらのインストラクションの内容に沿って該当するアプリケーションを起動し、解説内容を実際に行ってみることを推奨します。

6.3 ナレッジベース / リードミー / オンラインサポート

▶ サービスセンター(Service Center) アプリケーションを起動して右上隅にあるサポート (Support) ボタンをクリックします。ここには Native Instruments オンラインナレッジベース (Online Knowledge Base) と オンラインサポートフォーム(Online Support Form) へのダイレクトリンクを用意しています。Support

サポートフォームで使用しているハードウェア、ソフトウェアについてお答えください。ここでの情報は今後サポートチームが問題発生時に効率よく対応する為の資料となります。

Native Instruments サポートチームとコンタクトをとる際、ハードウェア、オペレーションシステム、使用しているソフトウェアのバージョン情報、問題の詳細をチームに伝えることが問題を解決する為に非常に有効となります。情報として提示すべき情報は以下となっています。

- 問題に到達するまでの操作手順
- 問題解決するために自分で試した解決策
- ハードウェアを含む使用しているセットアップの内容
- 使用しているコンピューターの機種を含む正確な情報



常に最新バージョンのソフトウェアの Readme.txt 情報を使用してください。そうすることで、マニュアル執筆の時点では明記されていない最新の情報を確認することができます。

6.4 フォーラム

Native Instruments ユーザーフォーラムでは他のユーザーやフォーラムの中心人物となるフォーラムの専門家と製品について直接会話することが可能です。 <http://www.native-instruments.com/forum>

6.5 アップデート

問題に直面した場合は、まずソフトウェアのアップデートを確認、ダウンロードし、インストールすることをお勧めします。アップデートは頻繁に起きる問題を解決、ソフトを向上させる為に定期的に行います。ソフトウェアのバージョン番号は Native Instruments 各アプリケーションの About ダイアログで表示可能です。このダイアログはユーザーインターフェイスの右上隅の NI ログをクリックしても開くことができます。更にインストールしてある全 Native Instruments アプリケーションのバージョン番号はサービスセンターの Overview タブでも確認することができます。アップデートはサービスセンターのアップデートタブ、または 以下当社ウェブサイトからでも可能です。 <http://www.native-instruments.com/updates>

7 トラブルシューティングと FAQ

このセクションには最も頻繁に質問される内容に関して表示しています。Native Instruments ウェブサイトのサポートセクションのナレッジベースに進んで検索フィールドで記事番号 (article number) を入力してください。

7.1 アップデートインストーラーがインストールフォルダを見つけることができない

ハードウェアで Native Instruments アプリケーションを手動で移動した場合、アップデートを行うインストーラーはエラーメッセージを表示してインストール作業を中断します。 サービスセンターの [Overview](#) ページを確認してアプリケーションパスを修正してください。 アプリケーションが見つからない場合は、[Locate](#) ボタンがこのページに表示されます。 このボタンをクリックしてアプリケーションが実際にある位置を認識させます。

7.2 アップデートインストーラーがライブラリパスを見つけることができない

サンプルやプリセットを含むフォルダ(ライブラリフォルダ)を移動、またはコンピュータに新規ハードディスクを追加した場合は、任意のアプリケーションから上記のフォルダに新規ライブラリパスを設定します。 この作業は通常アプリケーションのオプション (Options)、または環境設定 (Preferences) メニューで行うことが可能です。

7.3 ユーザーアカウント管理とインターネットセキュリティ

ユーザーアカウントコントロール (User Account Control、UAC) とインストールしてあるインターネットセキュリティまたはアンチウイルスソフトウェアはインストールに支障が出る可能性があるので、KONTAKT 5 のインストール時には一時的に無効の状態にしてください。 ファイルの安全性を確実にするには、インストールはコンピュータのネット接続を解除した状態で行ってください。

1. Windows 7 または Vista で UAC 設定オプション画面を開くには、タスクバーでスターとボタンをクリックし、検索バーに UAC と入力して [Enter] を押します。 Windows Vista では UAC のチェックボックスを無効にし、Windows 7 では UAC スライダーを一番下に動かします。
2. インターネットセキュリティ、またはアンチウイルスソフトの資料を参照してこれらを一時的に無効にする方法を確認してください。

3. インストールを終えたら、UAC とインターネットセキュリティ/アンチウイルスソフトウェアを再び有効にしてください。

7.4 旧プラグインで作成した曲を最新バージョンのプラグイン内容に設定更新する方法

旧バージョンのアプリケーションが既にインストールしてある場合(KONTAKT 4 がインストールしてあって、KONTAKT 5 を更にインストールする場合)、最新バージョンのインストールの際にそれら旧バージョンも更新されるわけではありません。旧バージョンで作った曲の使用アプリケーション内容を最新バージョンに変更する場合は、この作業を手動で行う必要があります。設定変更は以下の方法で行います。

1. DAW でソングをロードする。
2. 関係する全ての Native Instruments プラグインを表示します。
3. 各 Native Instruments プラグインからパッチ、または Multis をハードディスクにエクスポートします。これらに対応するソングフォルダ各にて保存することを推奨します。パッチに(ソング内でのトラック名称等)名称をつけ判別しやすくしておくとう便利でしょう。
4. 各プラグインを最新のバージョンのものと交換します。
5. 交換したプラグインで保存した任意のパッチをロードします。
6. ソングを再保存します。

7.5 Windows 内の VST プラグインフォルダの位置

Native Instruments ソフトウェアの VST プラグインバージョンはハードウェアのどこでもインストールすることが可能です。しかし殆ど全ての VST ホストまたはシーケンサーでは環境設定内にデフォルト VST プラグインフォルダを設定することが可能です。よって Native Instruments VST プラグインも使用するホストの環境設定が指定するフォルダにインストールすることが便利ですし、こうすることでアプリケーションがホストに効率よく認識されます。



インストール中は VST プラグインセットアップ画面を確認し、自動認識されない場合は手動で任意のパスを指定します。

VST プラグインパスと VST プラグインを 64-ビットバージョンの Windows で使用するための詳細に関しては、Native Instruments ナレッジベースのを参照してください。 www.native-instruments.com/knowledge/questions/764

7.6 シーケンサー上にプラグインが表示されない

ホストにプラグインが表示されない場合は、再度 **KONTAKT 7 DVD** インストールディスクを起動し、ホストが対応するプラグイン形式を選択しているか確認してください。バーチャルインストゥルメント、エフェクトプラグインのロード方法は各シーケンサーで異なります。バーチャルインストゥルメント、エフェクトプラグインのロード方法に関しては使用しているホストアプリケーションの資料を参照してください。

Windows- デフォルトでは Windows はプラグインの種類等を示す情報非表示の状態を表示します。それによって Windows Explorer を使用して VST プラグインを検索しても表示されない場合があります。Windows Explorer でプラグインファイルを表示するようにするには、Windows の設定 (“隠しファイルを表示する”)を変更する必要があります。プラグインファイルが正しくプラグインフォルダにインストールされたか手動で確認するにはこの方法を用いてください。

この設定を行うための詳細を確認するにはナレッジベースのを参照してください。

www.native-instruments.com/knowledge/questions/883

7.7 シーケンサーチュートリアル

Native Instruments ナレッジベースでは主要ホストシーケンサー内でどのようにプラグインを使用するか解説するチュートリアルを含んでいます。

<http://www.native-instruments.com/sequencer-guides>

このガイド作成時に確認できているチュートリアルは Logic、Pro Tools、Cubase、Ableton Live、Sonar、Digital Performer 用となっており、以下のトピックをカバーしています。

- Native Instruments プラグインのインストール方法
- プラグイン管理(Plug-in Administration)
- オートメーション(Automation)
- プログラムリスト(Program Lists)
- マルチアウト(Multi Outs)
- トラブルシューティング (Troubleshooting)

8 製品の返品

どんな製品でも返品を行う際は必ず事前にテクニカル・サポート・チームへご連絡ください。製品を返却する場合はテクニカルサポートチームが RA (Return Authorization、返品確認) をし、迅速に対応します。

NATIVE INSTRUMENTS テクニカルサポートへのコンタクト

<http://www.native-instruments.com/support>